



## 2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月11日

上場会社名 株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 4433 URL <http://www.hitocom-hd.com>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長グループCEO (氏名)安井 豊明  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 社長室長 兼 経営企画部長 (氏名)飯島 幸一 (TEL) 03(5924)6075  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月13日 配当支払開始予定日 2023年5月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期第2四半期の連結業績(2022年9月1日~2023年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	33,461	4.7	2,737	△18.0	2,762	△17.7	1,532	△21.1
2022年8月期第2四半期	31,944	△22.2	3,337	33.1	3,358	24.9	1,941	27.7

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 1,621百万円 (△22.0%) 2022年8月期第2四半期 2,078百万円 (23.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	85.89	—
2022年8月期第2四半期	108.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	33,547	18,867	53.0
2022年8月期	34,225	17,920	49.4

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 17,784百万円 2022年8月期 16,921百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	12.50	—	17.50	30.00
2023年8月期	—	15.50	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	15.50	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	59,000	△8.0	4,700	△18.1	4,720	△18.0	2,650	△17.9	148.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年8月期2Q	17,899,333株	2022年8月期	17,899,333株
2023年8月期2Q	56,933株	2022年8月期	56,933株
2023年8月期2Q	17,842,400株	2022年8月期2Q	17,842,427株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は、作成後当社ホームページに速やかに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年9月1日から2023年2月28日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染抑制と経済活動の両立を目指し、行動制限の解除と併せて全国旅行支援や水際対策緩和など各種施策が実施されたことにより、社会経済活動全般に改善の動きがみられました。一方で、ウクライナ情勢等による不透明感に加え急激な円安の進行から、エネルギーコストや原材料価格の高騰による物価上昇が継続し、家計の実質所得の減少や企業のコスト負担の増加など、家計・企業を取り巻く環境は厳しいものとなりました。しかしながら、水際対策緩和に伴い訪日外客数が急速に回復するなど明るい兆しもあり、ウィズコロナの環境下において本格的な経済活動の回復に向けた動きが継続しております。

このような環境のもと、当社グループは「マーケティングの未来創造企業グループ」をテーマに「ヒューマン営業支援」と「デジタル営業支援」を有機的に融合した「オムニチャネル営業支援企業」としての更なる事業リソースの充実に向けた取り組みを継続しております。具体的には、当社グループ各社が持つ専門性を継続的に高めるとともに、必要に応じて外部リソースを柔軟に活用することで、グループ全体の総合力を高めるとともに事業シナジーの最大化に取り組むことで、雇用機会や新規事業を創出し、社会課題の解決を通じた持続可能なより良い社会の実現に向けて貢献してまいります。

その実践として、政府や地方公共団体が推進するワクチン接種受付コールセンターや接種会場の運営支援等、新型コロナウイルス感染拡大対策関連業務を受託し、これらが業績を牽引しました。また、「ホールセール」において、秋冬物などトレンド商品の販売が好調に推移し前年同期比で増収となった他、「インバウンド」においても、訪日外国人に対する宿泊先や交通機関等の手配を行うランドオペレーティング業務が前年同期比で増収となりました。一方で、「ツーリズム・スポーツ」において、前期に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の運営業務等を受託したことから、前年同期比で減収となりました。

また、その他の取り組みとして、デジタル営業支援のアバターオンライン接客において、生産性向上や非対面・非接触など複数のニーズを背景に、地方自治体の受付案内業務など更なる普及拡大に努めました。また、ESG/SDGsの取り組みにおいて、TCFD提言を踏まえた世界的な気候変動にかかる長期的な事業機会やリスクの検討・評価等、サステナビリティを踏まえた当社グループの戦略策定や事業開発に取り組んでおり、当社グループ初となる「TCFD Report 2022」を発行しました。

以上の結果により、当第2四半期連結累計期間の売上高は33,461百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益は2,737百万円(前年同期比18.0%減)、経常利益は2,762百万円(前年同期比17.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,532百万円(前年同期比21.1%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産の残高は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末に比較して677百万円減少して、33,547百万円となりました。

負債の残高は、営業債務の支払い等により前連結会計年度末に比較して1,624百万円減少して、14,680百万円となりました。

純資産の残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により前連結会計年度末に比較して947百万円増加して、18,867百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,329	△203	△1,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96	△1,041	△945
財務活動によるキャッシュ・フロー	△456	△1,004	△547
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,380	10,903	522

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前年度末比2,246百万円減少し、10,903百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの主な増減事由については、以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動による支出は203百万円（前年同四半期連結累計期間は1,329百万円の収入）となりました。これは、主に前連結会計年度に係る法人税等の支払い、売上債権及び契約資産の増加によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動による支出は1,041百万円（前年同四半期連結累計期間は96百万円の支出）となりました。これは、関係会社株式の取得、投資有価証券の取得を行ったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動による支出は1,004百万円（前年同四半期連結累計期間は456百万円の支出）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支払い、前連結会計年度に係る配当金の支払いを行ったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の業績予想につきましては、2022年10月12日公表の「2022年8月期決算短信（連結）」の数値より変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,430	11,215
受取手形、売掛金及び契約資産	10,594	11,503
商品	485	632
仕掛品	46	33
その他	1,160	1,138
貸倒引当金	△23	△24
流動資産合計	25,693	24,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,289	1,294
減価償却累計額	△549	△580
建物及び構築物(純額)	740	713
機械装置及び運搬具	28	28
減価償却累計額	△20	△22
機械装置及び運搬具(純額)	7	6
工具、器具及び備品	645	678
減価償却累計額	△462	△500
工具、器具及び備品(純額)	183	178
土地	1,273	1,273
リース資産	74	78
減価償却累計額	△74	△74
リース資産(純額)	0	4
有形固定資産合計	2,205	2,176
無形固定資産		
のれん	3,465	3,205
ソフトウェア	819	940
その他	1	44
無形固定資産合計	4,286	4,190
投資その他の資産		
投資有価証券	434	696
関係会社株式	400	737
関係会社長期貸付金	250	95
繰延税金資産	525	542
その他	658	616
貸倒引当金	△228	△6
投資その他の資産合計	2,039	2,680
固定資産合計	8,531	9,047
資産合計	34,225	33,547

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,050	4,817
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	893	793
リース債務	11	13
未払金	3,581	3,165
未払法人税等	1,480	1,231
賞与引当金	150	103
役員賞与引当金	12	—
その他	1,303	1,018
流動負債合計	12,584	11,243
固定負債		
長期借入金	3,135	2,813
リース債務	11	14
繰延税金負債	12	3
役員退職慰労引当金	285	312
株式給付引当金	44	60
退職給付に係る負債	125	130
資産除去債務	67	67
その他	37	34
固定負債合計	3,720	3,436
負債合計	16,305	14,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	450	450
資本剰余金	287	91
利益剰余金	16,172	17,260
自己株式	△100	△100
株主資本合計	16,809	17,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90	65
為替換算調整勘定	21	16
その他の包括利益累計額合計	111	81
非支配株主持分	998	1,083
純資産合計	17,920	18,867
負債純資産合計	34,225	33,547

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	31,944	33,461
売上原価	24,157	25,892
売上総利益	7,787	7,569
販売費及び一般管理費	4,449	4,832
営業利益	3,337	2,737
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	0	0
受取補償金	52	18
違約金収入	—	20
その他	7	7
営業外収益合計	60	46
営業外費用		
支払利息	5	7
貸倒引当金繰入額	20	—
事務所移転費用	—	9
支払補償費	7	0
その他	5	2
営業外費用合計	39	20
経常利益	3,358	2,762
特別損失		
減損損失	—	6
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	6	6
税金等調整前四半期純利益	3,352	2,756
法人税等	1,293	1,104
四半期純利益	2,059	1,651
非支配株主に帰属する四半期純利益	117	119
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,941	1,532



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	2,059	1,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△24
為替換算調整勘定	10	△5
その他の包括利益合計	19	△30
四半期包括利益	2,078	1,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,958	1,503
非支配株主に係る四半期包括利益	119	118

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,352	2,756
減価償却費	189	222
減損損失	—	6
のれん償却額	259	259
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	17	26
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△58	△46
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	2
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	7	15
受取利息及び受取配当金	△1	△0
支払利息	5	7
受取補償金	△52	△18
支払補償費	7	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	6	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△97	△896
棚卸資産の増減額 (△は増加)	55	△146
営業債務の増減額 (△は減少)	△1,024	△651
その他	△281	△281
小計	2,397	1,249
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△5	△6
補償金の受取額	52	18
補償費の支払額	△8	△0
法人税等の支払額	△1,106	△1,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,329	△203
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△31	△30
有形固定資産の取得による支出	△45	△40
無形固定資産の取得による支出	△183	△262
投資有価証券の取得による支出	△0	△300
投資有価証券の償還による収入	200	—
関係会社株式の取得による支出	—	△337
関係会社貸付けによる支出	△33	△75
敷金及び保証金の差入による支出	△5	△0
その他	3	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96	△1,041

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△460	△455
リース債務の返済による支出	△5	△5
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△246	△313
非支配株主への配当金の支払額	△44	△33
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△456	△1,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	783	△2,253
現金及び現金同等物の期首残高	9,596	13,149
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	7
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,380	10,903

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額
	アウトソー シング事業	人材派遣 事業	EC・T C 支援事業	ホールセー ル事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,251	4,224	5,220	4,621	31,318	626	31,944	—	31,944
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	233	6	3	256	612	868	△868	—
計	17,264	4,458	5,226	4,624	31,574	1,238	32,813	△868	31,944
セグメント利益または損失 (△)(注) 1	2,281	413	699	92	3,487	△140	3,346	△9	3,337

(注) 1 セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、社会福祉サービス、教育研修、富裕層向けリムジンサービス、システム開発関連サービス等を含んでおります。

3 セグメント利益または損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社資産にかかる減価償却費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額
	アウトソー シング事業	人材派遣 事業	EC・TC 支援事業	ホールセー ル事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,006	4,820	5,116	5,301	32,245	1,216	33,461	—	33,461
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	221	8	1	257	720	977	△977	—
計	17,032	5,041	5,124	5,303	32,502	1,936	34,439	△977	33,461
セグメント利益(注) 1	1,291	648	419	215	2,576	170	2,746	△9	2,737

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、社会福祉サービス、教育研修、富裕層向けリムジンサービス、システム開発関連サービス等を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社資産にかかる減価償却費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。